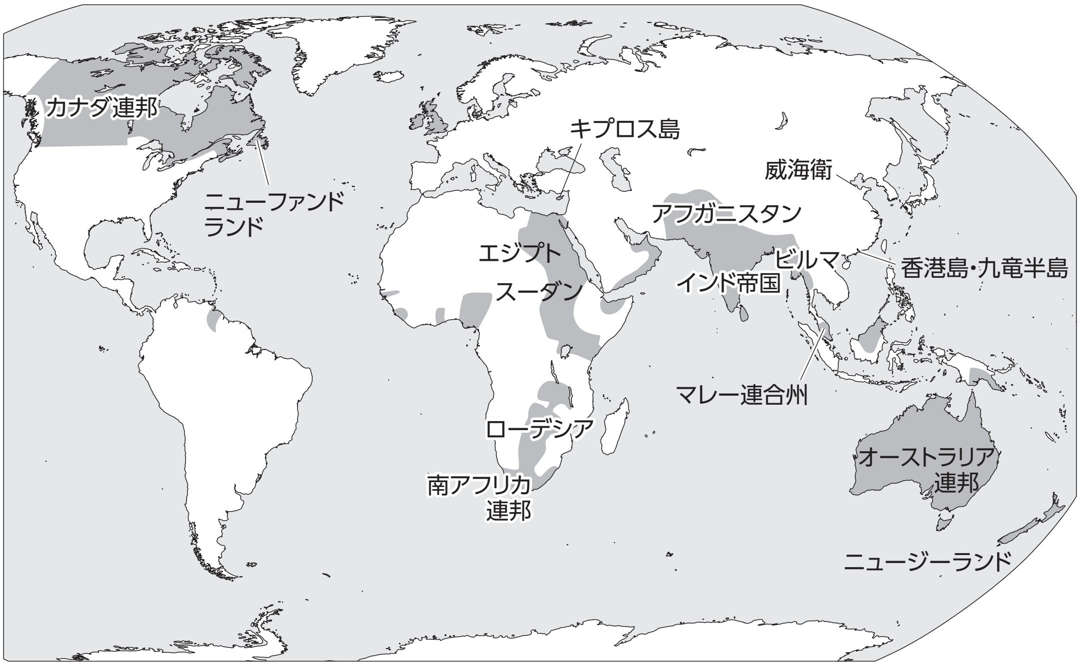
第 15 講 【近代編】アメリカの発展とヨーロッパの再編
PART2 19 世紀後半のイギリスとフランス

Chapter 1　ヴィクトリア時代のイギリス

目標
19 世紀後半の保守党と自由党の政治の特徴を比べてみよう。
第２回，第３回選挙法改正ではどのような人々が選挙権を獲得したのかをおさえよう。

1　イギリスの繁栄



イギリスの勢力範囲

①イギリスの最盛期

1837 年　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］が即位（～ 1901 年）

※圧倒的な軍事力と経済力を背景に，「**パクス = ブリタニカ**」を実現

1851 年　ロンドンで世界初の［　　　　　　　　　　　　］を開催

※ガラス張りの水晶宮（クリスタルパレス）が，イギリスの国力を世界に誇示。

19 世紀半ば　圧倒的な工業生産力を誇り，「**世界の工場**」と呼ばれる

1875 年　保守党の**ディズレーリ**首相が，**スエズ運河株式会社**の株を買収

1877 年　**ヴィクトリア女王**を皇帝とするイギリス領**インド帝国**を樹立

1882 年　**エジプト**を事実上の保護国とする

②二大政党制による議会政党政治の定着

グラッドストン率いる**自由党**と，**ディズレーリ**率いる**保守党**が交互に政権を担当

A〔　　　　　　〕…ホイッグ党が起源。産業資本家が支持層。自由主義的な政策

B〔　　　　　　〕…トーリ党が起源。地主階級，貴族が支持層。帝国主義的な政策

第 1 回万国博覧会の水晶宮

2　選挙権の拡大

1832 年　ホイッグ党内閣のもとで**第 1 回選挙法改正**が実現

→ブルジョワジー（産業資本家）に選挙権が拡大

1837 年　労働者による政治運動〔　　　　　　　　　　〕がおこる

→男性普通選挙制などを要求して集会，請願運動を行ったが，成果を得られないまま 1850 年代に終息

1867 年　保守党内閣のもとで〔　　　　　　　　　　〕が実現

→都市労働者が選挙権を獲得した

1870 年　公立学校の初等教育を定めた**教育法**を制定

1871 年　労働組合を合法化する**労働組合法**を制定

1884 年　グラッドストン自由党内閣のもとで〔　　　　　　　　　　〕が実現

→農業労働者，鉱山労働者が選挙権を獲得した

まとめ

保守党ではディズレーリを中心に帝国主義的政策を行ったが，自由党はグラッドストンを中心に自由主義的政策を行った。

第 2 回では都市労働者が，第 3 回では農民や鉱山労働者が選挙権を獲得した。

Chapter 2　フランス第二帝政とその崩壊

目標　ナポレオン３世に対する国民の支持が低下した理由を考えよう。
普仏戦争に敗北したフランスはどのような状況に陥ったのかを学ぼう。

1　第二帝政期のフランス

①第二帝政の成立

1852 年　ナポレオンの甥のルイ＝ナポレオンが国民投票で皇帝となり，
［　　　　　　　　　　　　　　］を称す（［　　　　　　　　　］）

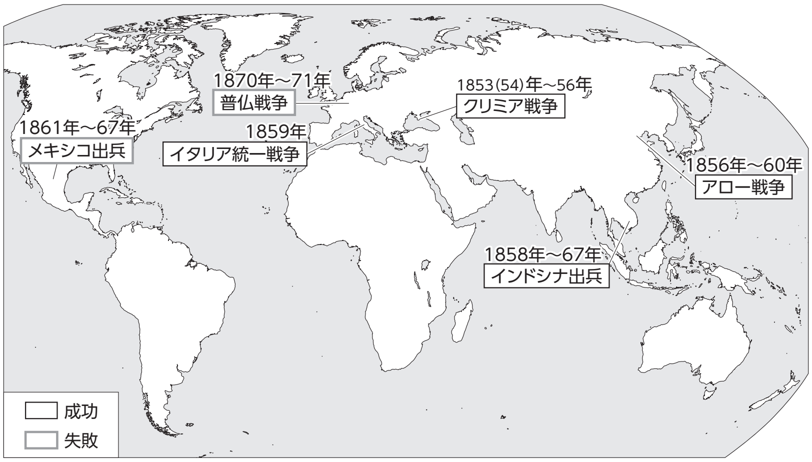
1853 年　オスマンをセーヌ県知事に抜擢し，**パリの都市大改造**に着手
※道路網の整備，鉄道建設，上下水道の設置などの都市改造を行った。

1860 年　イギリスと**英仏通商条約**を結ぶ
※関税率の大幅引き下げなど，自由貿易による国内産業の育成を図る。
→フランスの工業化が急速に発展

1867 年　［　　　　　　　　　　　　　　］を開催

②ナポレオン３世の対外政策

独裁を維持するため，数多くの外征を行った。



ナポレオン３世の進出先

1853 年　［　　　　　　　　　　　　］（～ 56 年）
ロシアの地中海進出を阻止するため，オスマン帝国を支援
→パリ講和会議で，ナポレオン３世の名声が高まる

1856年 〔　　　　　　　　　　〕（第二次アヘン戦争，～60年）

フランス人宣教師殺害事件を口実に，イギリスとともに中国に侵攻

1858年 〔　　　　　　　　　　　　　〕（～67年）

宣教師殺害事件を口実に，スペインとともにインドシナを侵略

1859年 〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

サルデーニャ王国と密約を結んで参戦。**サヴォイア**と**ニース**を獲得

1861年～67年 〔　　　　　　　　　　　　　〕

メキシコの混乱に乗じて，イギリス・スペインを誘って出兵

→メキシコ人の激しい抵抗にあい，撤退。ナポレオン3世の支持が低下

2 帝政の崩壊と第三共和政の混乱

①普仏戦争

1870年 **プロイセン＝フランス**（普仏）**戦争**に大敗

→ナポレオン3世がスダンでプロイセンの捕虜となり，廃位される

→**第二帝政**の崩壊

②第三共和政の成立

1870年 〔　　　　　　　　　　〕**の宣言**←ブルジョワ共和派によって**臨時政府**が成立。

1871年 ティエールを首班とする臨時政府が，ドイツ帝国と仮講和条約を結ぶ

※**アルザス**と**ロレーヌ**を失う。

1871年 敗戦と講和に抗議してパリ民衆が蜂起，〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（労働者による自治政府）を樹立。臨時政府からの自立を宣言

1871年 臨時政府軍がパリを包囲。市外戦**血の週間**の末に鎮圧

→**パリ＝コミューン**が72日で崩壊

1875年 **共和国憲法**を制定

三権分立・二院制・任期7年の大統領制などを規定

まとめ

ナポレオン3世は数多くの外征を行い，独裁を進めたが，メキシコ出兵に失敗すると国民の支持を失った。
第二帝政が崩壊すると第三共和政が成立したが，労働者の自治政府パリ＝コミューンは弾圧された。

第 15 講　PART 2　確認問題

1　ヴィクトリア女王の時代に，帝国主義的な政策を行った保守党の政治家はだれか。

① ウォルポール　② ハーヴェー
③ ジョゼフ＝チェンバレン　④ ディズレーリ

2　ヴィクトリア女王の時代に自由主義的な政策を行った自由党の政治家はだれか。

① グラッドストン　② クロムウェル
③ ジョン＝ボール　④ スティーヴンソン

3　1837 年から 1850 年代にかけて，労働者が男性普通選挙制などを求めておこした政治運動はどれか。

① ブルシェンシャフト運動　② ラダイト運動
③ チャーティスト運動　④ ツンフト闘争

4　イギリスで，都市労働者が選挙権を獲得したのはどの選挙法改正か。

① 第 1 回選挙法改正　② 第 2 回選挙法改正
③ 第 3 回選挙法改正　④ 第 4 回選挙法改正

5　1852 年にフランス皇帝となり，1870 年の普仏戦争の敗北で廃位された人物はだれか。

① ナポレオン＝ボナパルト　② シャルル 10 世
③ ルイ＝フィリップ　④ ナポレオン 3 世

6 フランスがイタリア統一戦争に参戦して獲得したのは，サヴォイアとどこか。

① ニース　② 南チロル
③ サルデーニャ島　④ ヴェネツィア

7 普仏戦争に大敗したフランスがプロイセンに割譲したのは，アルザスとどこか。

① スダン　② ロレーヌ
③ ニース　④ マルセイユ

8 敗戦と領土割譲を不服とするパリ民衆が蜂起し，1871 年に樹立した政府はどれか。

① 臨時政府　② 統領政府
③ パリ＝コミューン　④ 総裁政府

第 15 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：④　保守党の**ディズレーリ**を中心に，帝国主義的な政策がとられた。

2 解答：①　自由党の**グラッドストン**を中心に，自由主義的な政策がとられた。

3 解答：③　イギリスの労働者は 1837 年から，参政権獲得などを目指して**チャーティスト運動**をおこしたが，成果を得られないまま 1850 年代に終息した。

4 解答：②　都市労働者は，1867 年の**第 2 回選挙法改正**で選挙権を獲得した。

5 解答：④　**ナポレオン 3 世**は，数多くの外征を行ったが，メキシコ出兵に失敗し，ついでプロイセン = フランス（普仏）戦争にも敗れて廃位された。

6 解答：①　フランスはイタリア統一戦争に介入して，サヴォイアと**ニース**を獲得した。

7 解答：②　プロイセン = フランス（普仏）戦争に敗れたフランスは，アルザスと**ロレーヌ**を失った。

8 解答：③　1871 年，蜂起したパリ民衆は革命的な自治政府**パリ = コミューン**を樹立し，臨時政府からの自立を宣言した。